

## 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	見学実習	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	40 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部1年	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	河野 孝範				
実務経験とその関連資格	理学療法士として急性期病院にて急性期リハに従事。その後診療所にて地域リハビリテーションとして訪問リハビリと外来リハビリ、通所リハビリを経験する。2000年に介護支援専門員資格を取得し、介護支援専門員として居宅介護支援業務も兼任する。現在、地域包括ケア推進リーダーと介護予防推進リーダーを取得し、地域貢献活動として地域の介護予防・認知症予防活動に従事している。				
《授業科目における学習内容》	<p>地域在住高齢者の集う会場に訪問し、高齢者に対してマナーを守って、必要なコミュニケーションがとれる。          高齢者とコミュニケーションをとることで、高齢者の生活実態について理解し、医療人としての自覚を持つ。          面接OSCEにおける対象者に対するマナーや問診が適切にできるようになる。          見学実習において、理学療法士の役割を理解し、理学療法士にとって必要な臨床能力を学び、今後の学習の糧とする。</p>				
《成績評価の方法と基準》	<p>面接OSCEにおける評価:25%          見学実習における評価:75%</p>				
《使用教材(教科書)及び参考図書》	学校配布資料 等				
《授業外における学習方法》	<p>地域コミュニケーション実習後にグループで振り返りをして、次回実習に生かすように。          面接OSCEに向けて、練習を学生同士で繰り返し行う。          見学実習で学んだこと経験できたことを、レポートやディリーノートに記録する。</p>				
《履修に当たっての留意点》	地域コミュニケーション実習・面接OSCEに対してグループで準備を行うこと。見学実習に対して十分準備を行うこと。				
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	高齢者とのコミュニケーションをとる上で意識すべき点を理解する 高齢者に対するマナーを理解する	「コミュニケーション実習について」配布資料		
	各コマにおける授業予定	コミュニケーション実習の概要説明 学生同士でコミュニケーションの練習(患者役と学生役)を行う			
第2回	授業を通じての到達目標	地域コミュニケーション実習1回目を遂行する		コミュニケーションの内容を事前準備しておく	
	各コマにおける授業予定	学校地元地域の通いの場にて高齢者とコミュニケーションをとる			
第3回	授業を通じての到達目標	面接OSCEにおけるマナーと問診の方法を理解する	「面接OSCEについて」配布資料		
	各コマにおける授業予定	面接OSCEにおけるマナーと問診の練習を学生同士で行う			
第4回	授業を通じての到達目標	面接OSCEを通じて見学実習で必要なコミュニケーション能力を身に付ける			
	各コマにおける授業予定	面接OSCEを実施して合格する			
第5回	授業を通じての到達目標	地域コミュニケーション実習2回目を遂行する		集団体操・レクリエーションを事前準備しておく	
	各コマにおける授業予定	高齢者に対して学生が考えた体操やレクリエーションを指導する			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	見学実習での学ぶべき事項について自覚する	「見学実習オリエンテーション」配布資料	
	各コマにおける授業予定	見学実習オリエンテーション、課題説明		
第7回	授業を通じての到達目標	見学実習5日間を遂行する		
	各コマにおける授業予定	施設(病院・老健等)で理学療法業務を見学する		
第8回	授業を通じての到達目標	見学実習報告会にて実習内容の発表ができる		
	各コマにおける授業予定	実習で学んだことをパワーポイントを使って発表する		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			